

令和 5 年度		3 学年		普通 科	
教科名	地理歴史	科目名	日本史探究Ⅱ		2 単位
		担当者	鈴木 良		
1. 学習目標					
日本列島に人類文化が誕生してから国家として近代化されるまでの有様を、世界全体の動き、特に東アジアと関連させて考察し、私たちの祖先が残してくれた誇りうる歴史的遺産を認識するとともに、歴史から得た教訓を将来に生かす態度を養う。					
2. 使用教材等					
・教科書名 詳説日本史 改訂版（山川出版社）					
・副教材名 共通テスト 分野別対策 ベーシックマスター 日本史B					
3. 学習項目（学習内容）					
学期	月	単元	学 習 内 容	時間数	考査
1	4	第1章 日本文化のあけぼの	重要事項の復習、センター試験の過去問、模擬試験の過去問、私大一般入試過去問などに取り組み、受験に対応。	13	中間考査
	5	第2章 律令国家の形成 第3章 貴族政治と国風文化			
	6	第4章 中世社会の成立 第5章 武家社会の成長 第6章 幕藩体制の確立			
2	8	第7章 幕藩体制の展開	重要事項の復習、センター試験の過去問、模擬試験の過去問、私大一般入試過去問などに取り組み、受験に対応。	13	中間考査
	9	第8章 幕藩体制の動揺			
	10	第9章 近代国家の成立			
	11	第10章 2つの世界大戦とアジア 第11章 占領下の日本			
3	1	第12章 高度成長の時代	重要事項の復習、センター試験の過去問、模擬試験の過去問、私大一般入試過去問などに取り組み、受験に対応。	18	期末考査
	2	第13章 激動する世界と日本			
	3	総まとめ			
4. 評価の観点					
①関心・意欲・態度		各時代を概観しながら基本的諸事項を整理し、主権者となる意識が高められるか。			
②思考・判断・表現		過去の諸事象から、日本及び世界の諸課題を考察できるか。			
③資料活用の技能		諸課題に対する自分なりの探究ができるか。			
④知識・理解		諸課題から、日本及び世界の地域的特色をひろく理解できるか。			
5. 評価の方法					
・定期考査：		年5回実施			
・課 題：		担当者が必要とする場合、指示を出します。			
・授業態度：		1時間の授業を大切にすること。			
6. 学習にあたっての注意とアドバイス					
<ul style="list-style-type: none"> ・授業の中で教科書や図説を網羅して見ていくことは、時間的な制約があるので不可能に近くなります。 ・わからない用語については、用語集などで自分で調べるようにしてください。 					